

心・技、光る |

松本の文化を支えた彫刻家



《宿命》1934年 松本市美術館蔵



《弱法師》1949年 松本館蔵

太田南海展

生誕130年記念

130th Anniversary of the Birth of Ohta Nankai Glowing Heart and Technique : The Sculptor who Supported Matsumoto Culture

2018 9.15(土) → 11.25(日)

■9:00~17:00開館(入場は16:30まで) ■月曜日休館(祝日の場合は次の平日)



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART



主催/松本市美術館、SBC信越放送、信濃毎日新聞社 共催/市民タイムス

1888(明治21)年、太田南海は松本市の中心部・中町に人形師の長男として生まれました。息子の才能を見込んだ父により、木彫家・米原雲海に入門したのは16歳のときでした。当時の日本には西洋美術の波が押し寄せ、日本の伝統的な技法と西洋の技法とを絡み合わせながら、近代彫刻の幕が開けようとしていました。

そんな時代、南海は師・雲海の信頼も厚く、師の晩年の作である「善光寺仁王像」などに雲海工房の主力として腕をふるいました。独立し、拠点を故郷・松本に移すと、地元の人々に請われて、仏像や肖像、祭りの舞台などを制作しながら、文展・帝展などへの出品を続けました。岡倉天心に日本画の手ほどきを受けるなかで磨かれた感性は、卓越した技術を背景に、《弱法師》《雪ぞら》などの作品に発揮

あの天心が愛でた感性。
かの雲海が育てた技。



されました。とくに、3人の女性を「過去」「現在」「未来」に見立てた大作《宿命》は、キリスト教の聖母と仏教の観音像を融合したかのような独特の優美さと静けさをたたえています。

1959(昭和34)年、70歳で没するまで地元で活動を続けた南海。地方の美術活動振興のため、作家たちの発表の場を設けたり、審美眼で古美術の目利きをするなど、一彫刻家の枠にとどまらない活動は、地元的美術家たちの信望をあつめました。

今年は、南海が生まれてから130年。本展では、彫刻家としての足跡をたどるべく、プロローグとして師・雲海作《竹取翁》を、南海作《竹取翁》とともにご紹介します。木彫作品を中心に、陶彫や日本画も含め、市井に眠る多彩な南海の芸術世界をご堪能ください。



《竹取翁》1919年

《李李白》1929年、絹本着色

《雪ぞら》1936年

《鬼子母神》1950年、紙本着色

《岡倉天心像》1959年

■ワークショップ

木を削って「手のりサイズのオブジェ」作り

彫刻刀や切出しナイフを使い、動物、くだもの、植物などを作ります。

- 日時/10月21日(日) 10:30~16:30 ※自由解散
- 会場/市民アトリエ・講座室
- 定員/8名(中学生以上、初めての方歓迎)
- 料金/500円
- 講師/田路恭子(木工オブジェ作家)
- 申込み/9月20日(木)から松本市美術館へ



■街なか探訪ツアー

①②とも定員は各15名、料金無料(ただし本展観覧券が必要) 申込みは9月28日(金)から松本市美術館へ

- ① **松本館コース**/太田南海が建築監修した老舗割烹「松本館」(国登録有形文化財)を鑑賞するツアーです。
 - 日時/10月28日(日)10:00~11:30
 - 集合/中町・蔵シツク館前(松本市中央2-9-15)
- ② **舞台コース**/太田南海が手がけた祭りの舞台(山車)の見学と展覧会会場を鑑賞するツアーです。
 - 日時/11月3日(土)10:30~11:45
 - 集合/深志神社境内(松本市深志3-7-43)

■みんなで楽しく、トークフリーデー

11月23日(金)・24日(土)・25日(日)の3日間は、気兼ねなく、親子で、お友達同士で、隣合った人同士で、お話ししながら展覧会を楽しみませんか?

学芸員と一緒に巡りましょう!

どんな場面? どんな表情? 何が起きている?

- 日時/11月23日(金) 10:30~(45分程度)
- 料金/無料 (ただし、当日有効の本展観覧券が必要)
- 申込み/不要。企画展示室前に集合

■学芸員によるギャラリートーク

- 日時/10月5日(金)・13日(土)・20日(土)、各日14:00~(45分程度)
- 料金/無料(ただし、当日有効の本展観覧券が必要)

- 定員/各日先着20名程度
- 申込み/不要。企画展示室前に集合

■観覧料/大人.....1,000円
大学高校生・70歳以上の松本市民.....600円

※20名以上の団体は100円引き
※中学生以下無料、障害者手帳携帯者とその介助者1名無料

■前売券/大人800円、大学高校生・70歳以上の松本市民400円(取扱いは2018年9月14日まで)

■プレイガイド/松本市美術館、井上百貨店、こばやし画材、シナノ画房、手塚信古堂、セブンチケット、ローソンチケット

■リピート割引/大人600円、大学高校生・70歳以上の松本市民300円

※2回目以降の観覧料。要半券呈示。他の割引との併用不可



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

〒390-0811 松本市中央4-2-22 TEL. 0263-39-7400

■松本バスターミナルからアルピコ交通バス・横田信大循環線5分[松本市美術館]下車 ■JR松本駅からタウンスニーカー(市内周遊バス)東コース14分[松本市美術館]下車 ■JR松本駅から徒歩12分 ■長野自動車道松本インターチェンジから車で15分



http://matsumoto-artmuse.jp/

